

税関ロゴマークと税関旗

◆税関ロゴマーク

デザインは、中央に航空機、船、ゲート（門）を組み合わせ、従前のロゴマークにある“関”の字を引き継いでいます。また、ゲート（門）の中の秤は公平を、鍵は保全を意味し、税関の役割を図で表現するとともに、三つの桜が税関の使命（適正かつ公平な関税等の徴収、安全・安心な社会の実現、貿易の円滑化）を示しています。

このロゴマークは、神戸税関職員がデザインしたもので、2007年11月1日から全国の税関で使われています。



◆税関旗

青い（紺色）ところが海と空、白いところが陸地、その接点に税関（赤い丸）があることを意味しています。

この税関旗は、1892年（明治25年）8月3日に制定されました。

